

保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に裏面保証規定(1)に基づく正常な使用状態での故障の際は裏面保証規定により修理いたします。

品 名	ナーステーブル(補助天板昇降タイプ)		
型 式	TNS-1700W		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お 客 様	様		
ご 住 所	TEL.		
取り扱い店名	担当者印		
住 所	TEL.		

アズワン株式会社

＜保証規定＞

- (1) 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- (2) 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 - ・誤使用、不当な修理・改造による故障。
 - ・本品納入後の移動や輸送或いは落下等による故障。
 - ・火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
 - ・接続している他の機器が原因による故障。
 - ・車両・船舶等での使用による故障。
 - ・消耗部品、付属部品の交換。
 - ・本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- (3) ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- (4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■ 商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター

フリーダイヤル ☎ 0120-711-875
FAX 0120-700-763
問合せ専用URL <http://help.as-1.co.jp/q>

■ 修理・校正にいてのお問い合わせは
テクニカルセンター

フリーダイヤル ☎ 0120-788-535
FAX 0120-788-763
問合せ専用E-mail repair@so.as-1.co.jp

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分 ・ 土・日・祝日及び弊社休業日は、ご利用できません

アズワン株式会社

2012年1月 初版作成

取扱説明書

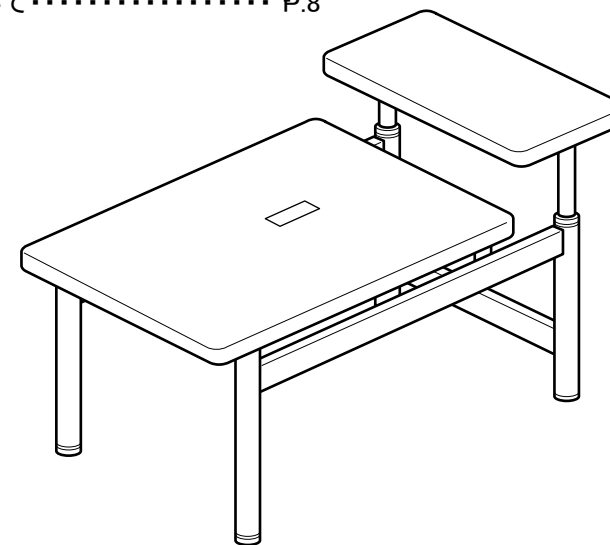
Instruction Manual

ナーステーブル
(補助天板昇降タイプ)

型番 TNS-1700W

目 次

安全上のご注意	P.2-3
製品設置時の注意事項	P.4
保守点検とお手入れの注意事項	P.4
製品概要	P.4
組立方法	P.5-6
取り扱い方法	P.7
製品保証について	P.8



お買い上げありがとうございます。





この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品をより安全に、また良好な状態でご使用いただくために『取扱説明書』をお読みになって、正しくお使い下さい。
『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られるところに大切に保管して下さい。また、製品を譲渡されたり、貸与されるときには新しく使用者となられる方が安全で正しい使い方を知るために『取扱説明書』を製品本体の目立つところに添付して下さい。

アズワン株式会社




安全上のご注意

この取扱説明書では製品を安全に正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上、特に注意すべき事項についての情報をその重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますのでこれらの指示に従って安全にご使用願います。

表示とその意味

	危険	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる事が想定される場合。
	警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が生じる事が想定される場合。
	注意	誤った取り扱いをすると、傷害を負う危険および物的損害のみが生じる事が想定される場合。
	お願い	安全を確保するために注意が必要な事項

安全確保の図記号







	△記号は注意(危険・警告を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 (左図の場合は“指をはさみ事への注意”を示します)
	⊘記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。 (左図の場合は“分解禁止”を示します)
	●記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 (“廃棄する場合は専門業者に任せること”等を示します)

安全上のご注意



注意

誤った取り扱いをすると、傷害を負う危険および物的損害のみが生じる事が想定される場合。

	操作するときは手を可動部からはなして下さい。	可動部に手を挟まれてけがをすることがあります。
	天板の固定は確実に行って下さい。	天板が外れてけがをすることがあります。
	高さ調整は天板を支えてから行って下さい。	天板の落下によってけがをすることがあります。
	天板の外縁部に耐荷重以上の物を載せないで下さい。	天板のたわみによって落下することがあります。(下記耐荷重参照)
	火のそばに近づけて使わないで下さい。	火災になることがあります。
	ボルトやネジがゆるんだままで、使わないで下さい。	本体が壊れてけがをすることがあります。
	天板の上に腰掛けたり、乗ったりしないで下さい。	転倒してけがをする恐れがあります。
	可動部のすきまに手を入れないで下さい。 用途以外で使わないで下さい。 異常を発見したままで使わないで下さい。	けがをすることがあります。
	天板に耐荷重以上の物を置かないで下さい。	倒れてきてけがをすることがあります。 (耐荷重:天板(大)45kg、(小)20kgまで)
	分解や改造をしないで下さい。	破損やけがをすることがあります。
	子どもに操作させないで下さい。	事故でけがをする事があります。
	廃棄する時は専門業者におまかせ下さい。	焼却すると有毒ガスが発生することがあります

製品設置時の注意事項

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をお読みの上、適切な場所をお選び下さい。。



- ・ 周囲温度が5～35℃以内の所
- ・ 水平で安定した所
- ・ 直射日光のあたらない所に設置してください。

※この製品は、屋外で使用することは出来ません。

保守点検とお手入れの注意事項

清掃は、お湯又は水を固く絞った柔らかい布で拭いてください。取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。



- ・ クレンザー(磨き粉)、シンナー、灯油、酸など、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。



製品概要

＜製品各部の名称＞



天板(小)

トレ-

天板(大)

棧(短)

、**栈(長)**

固定脚

アジャスター

＜主要部材の材質＞

	材 質
天板(大)	パーティクルボードベタ芯:表面メラミン
天板(小)	パーティクルボードベタ芯:表面メラミン
固定脚	スチールパイプ:表面メッキ仕上
昇降脚	スチールパイプ:表面メッキ仕上
棧(長)	スチールパイプ:表面メッキ仕上
棧(短)	スチールパイプ:表面メッキ仕上
アジャスター	ABS樹脂
トレー	ABS樹脂

＜許容積載質量＞

	許容積載質量
天 板(大)	45kg
天 板(小)	20kg

＜組立に必要な付属部品＞

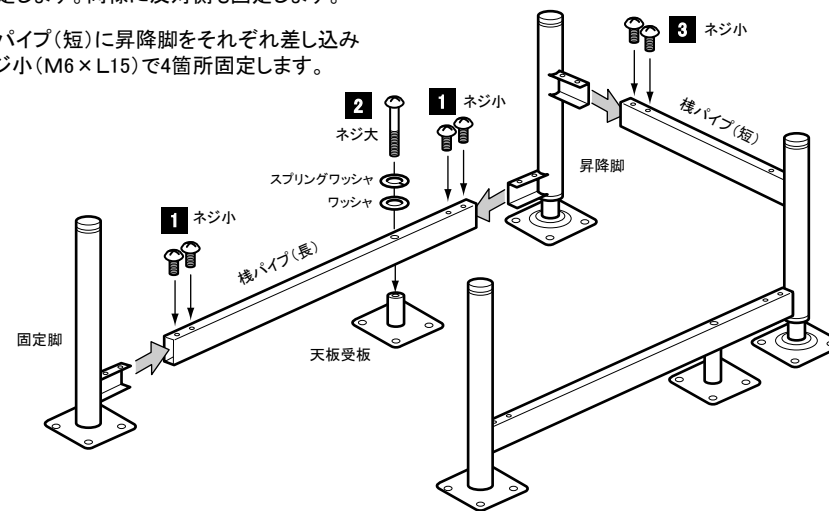
M5×L15ネジ= 4 本 M8スプリングワッシャ= 2枚
M6×L15ネジ=40本 M8平ワッシャ= 2枚
M8×L70ネジ= 2 本 L型金具= 4個

＜製品サイズ＞

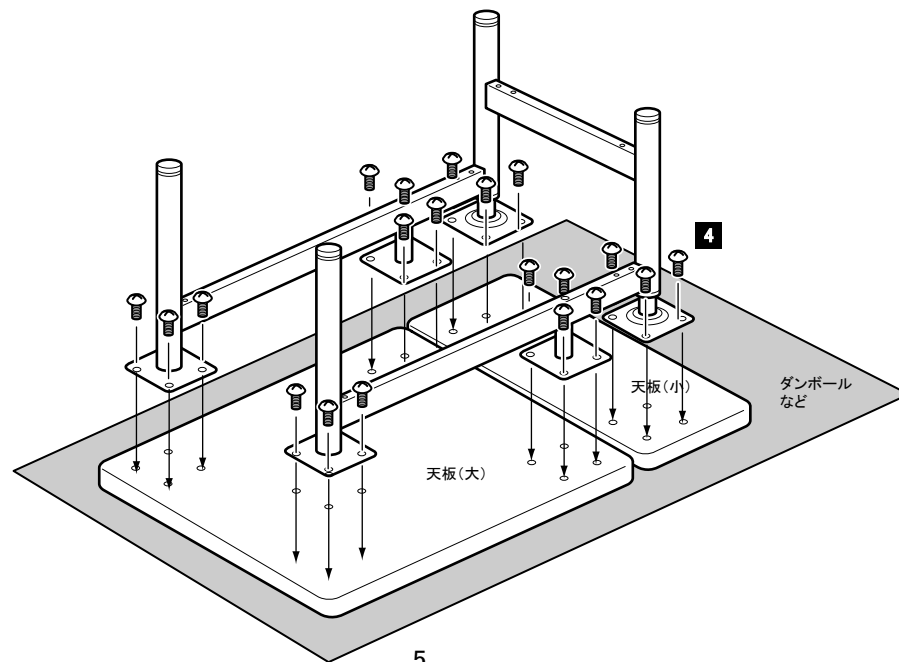
W1660 × D900 × H700~1000mm

組立方法

- 1** 棧パイプ(長)に固定脚と昇降脚を図のように差し込みネジ小(M6×L15)で4箇所固定します。同様に反対側も4箇所固定します。
 - 2** 棧パイプ(長)に天板受板を図のようにセットしてネジ大(M8×L70)とスプリングワッシャー・ワッシャーで固定します。同様に反対側も固定します。
 - 3** 棧パイプ(短)に昇降脚をそれぞれ差し込みネジ小(M6×L15)で4箇所固定します。

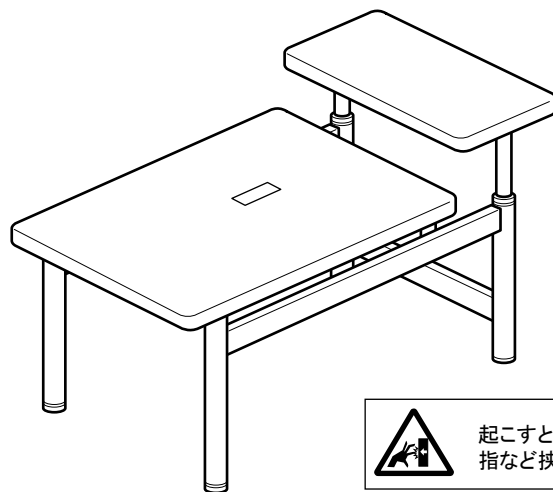


- 4** 梱包用のダンボールなどを敷いた上に天板(大)と(小)を裏返しに並べて置いて下さい。
組み立てた脚を天板裏に載せ、ネジ小(M6×L15)で24箇所固定します。



組立方法

5 テーブルを2人で起こして下さい。

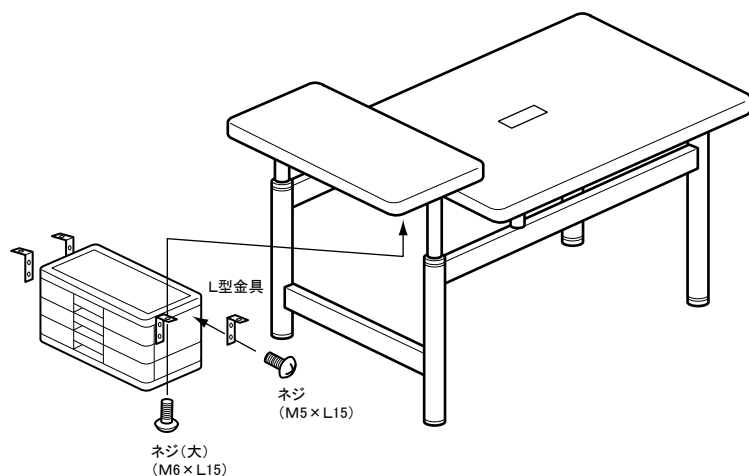


起こすときに昇降脚が伸び天板が動きます。
指など挟まないように注意して下さい。



ネジがしっかり締まっているか、ガタツキや
歪みなどないか確認してから使用して下さい。

6 トレーにL型金具を、ネジ小(M5×L15)4本で図のように取り付け
それを天板(小)の裏にネジ大(M6×L15)で4箇所取り付ければ組立は完成です。
※トレーの方向は、図のような方向と反対向きにも取り付け可能です。

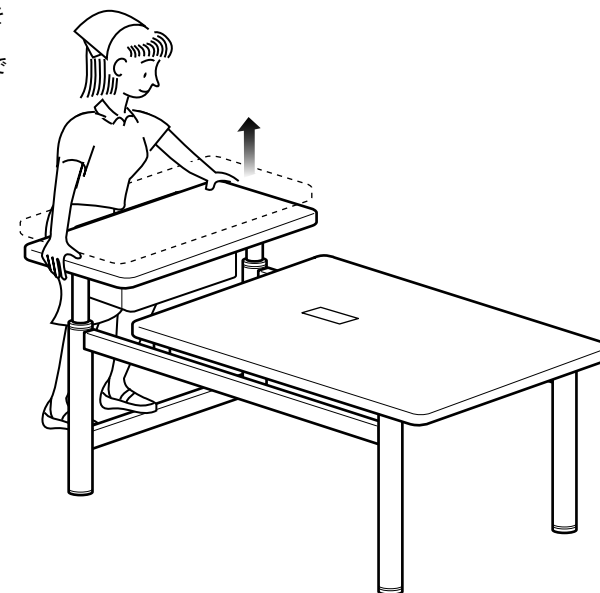
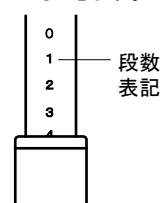


取り扱い方法

〈天板(小)を上げる場合〉

棧パイプ(短)を足で踏みながら天板を
ゆっくり持ち上げます。
20mm間隔で、カチッと音がしますので
それを目安に高さを
調整して下さい。
(20mm間隔で15段階の調整が可能)

昇降脚の内パイプには、段数が刻
印されています、それを目安に高さを
調整することもできます。

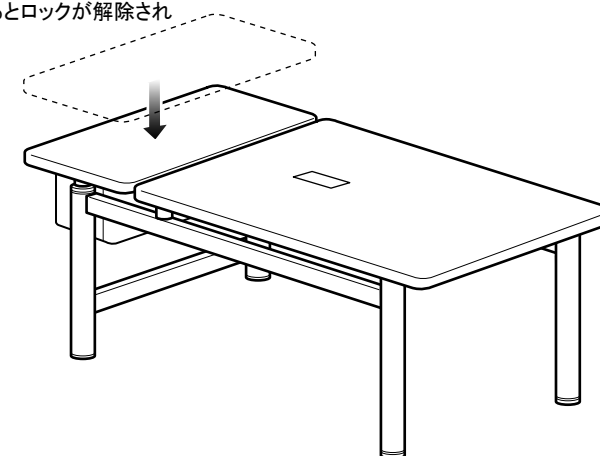


〈天板(小)を下げる場合〉

下げる場合は、一旦最上段まで上げるとロックが解除され
最下段までゆっくりと下ります。

少し押さえながら下げて下さい。

最下段まで下げると天板(大)と
同じ高さになります。



可動部分には指を入れないで下さい。
けががけがをすることがあります。



天板上のものを降ろしてから作業を行って下さい。
無理に作動させると、故障の原因となります。